

従業員等の労働条件に関する事項
従業員等の勤務の体制及び勤務形態一覧表(予定・実績表)(令和2年4月分)

管理者がサービス提供責任者等を兼務する場合は、従事時間を分けること(管理者は原則2分の1以上)

兼務する場合は、従事時間を分けること(管理者は原則2分の1以上)

当に○)

在宅介護

重度訪問介護

同行援護

行動援護

移動支援

事業所名

ヘルパー事業所あいち

居宅介護 職種 ※1	形 ※2	度 問 ※3	同行 援護 ※3	行動 援護 ※3	移動 支援 ※3	資格 ※4	氏名	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週※6			4週 (1月の 合計 ※6)	週平均 の勤務 時間	他 の職
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
管理者	②						愛知 太郎	予定	4	4	4			4	4	4	4	4		4	4	4	4	4			4	4		4	4		4	4		84	20.0				
								実績	4	4	4			4	4	4	4	4		4	4	4	4	4			4	4		4	4		4	4		84	20.0				
サービス提供責任者	②	サ	サ	サ	サ	介護福祉士・同行援護従事者養成研修(一般・応用)・行動援護従事者養成研修	愛知 太郎	予定	4	4	4			4	4	4	4	4		4	4	4	4	4			4	4		4	4		4	4		84	20.0				
								実績	4	4	4			4	4	4	4	4		4	4	4	4	4			4	4		4	4		4	4		84	20.0				
×	③	×	サ	×	×	実務者研修 同行援護従事者養成研修(一般・応用)	福 健造	予定	6					6		6				6		6				6		6			6		6		54	12.0					
								実績	6					6		6				6		6				6		6			6		6		48	11.2					
従業者	③	従	×	サ	従	行動援護従事者養成研修	森増 木子	予定	6	6	6			6	6	6	6	6		6	6	6	6	6			6	6		6	6		6	6		126	30.0				
								実績	6	6	6			6	6	6	6	6		6	6	6	6	6			6	6		6	6		6	6		120	28.5				
従業者	①	従	従	従	従	旧ヘルパー2級・行動援護従事者養成研修	名護 一子	予定	8	8	8			8	8	8	8	8		8	8	8	8	8			8	8		8	8		8	8		168	40.0				
								実績	8	8	8			8	8	8	8	8		8	8	8	8	8			8	8		8	8		8	8		168	36.0				
×	③	従	×	×	×	初任者研修	健福 次郎	予定	2	2	2			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2			2	2		2	2		2	2		42	10.0	グループホーム あいち・生活指導員			
								実績	2	2	2			2	2	2	2	2		2	2	2	2	2			2	2		2	2		2	2		42	10.0				
事務員	③						高冷 福士	予定	6	6	6			6	6	6	6	6		6	6	6	6	6			6	6		6	6		6	6		126	30.0				
								実績	6	6	6			6	6	6	6	6		6	6	6	6	6			6	6		6	6		6	6		120	28.5				

新規の場合は指定月以降3月間の推計数を記載してください。

居宅介護に従事しない場合は「×」を記入

変更・更新の場合、提出月の前月までの3月分を記載

15分⇒0.25、30分⇒0.5で入力

無・有

1か月単位

1年単位

対象職種：全職種

労基届

出日：H26.8.1

左の期間の常勤の勤務すべき時間数

168 時間 分

変形労働時間制を採用している場合は「有」に○を付け、「()」と下段に必要事項を記入する。第5週まで勤務時間を記載し「4週の合計」欄には第5週までの合計を記入する。
※ 事業所において勤務として使用する際は、変形労働時間制の有無に関わらず、予定・実績ととも毎週までの時間数を記入してください。

変形労働時間制を採用している場合は「有」に○を付け、()と下段に必要事項を記入する。
第5週末で勤務時間を記載し「4週の合計」欄には第5週末までの合計を記入する。
※ 事業所において勤務表として使用する際は、変形労働時間制の有無に関わらず、予定・実績欄とも第5週末までの時間数を記入してください。

新規の場合は指定月以降3月間の推計数を記載してください。

居宅介護に従事しない場合は「×」を記入

15分⇒0.25、30分⇒0.5で入力

サービス提供責任者の 必要配置数の算出 ※10		利用者数(乗降介助のみは0.1人)				配置すべき サービス提供責任者数(A)	サービス提供時間				配置すべき サービス提供責任者数(B)	従業者数				配置すべき サービス提供責任者数(C)	事業により 従業者が異なる場合は 居宅介護の人数を記入				従業者の員数		専従	業務							
		1月	2月	3月	平均		1月	2月	3月	平均		1月	2月	3月	平均		1月	2月	3月	平均	サ-ビス提供責任者 とヘルパーの合計を記入(人)	常勤			1	1					
居宅介護		7.0	8.0	8.0	7.7	0.2	123.00	120.00	128.00	123.7	0.3	3	3	3	3.0	0.3															
重度訪問介護		1	1	1	1.0	0.1	214.0	220.0	225.0	219.7	0.3	1	1	1	1.0	0.1	重訪専従	常勤	1	1											
												4	4	4	4.0	0.4	他も従事	非常勤	3												
同行援護		2	2	2	2.0	0.1	34.0	32.0	38.0	34.7	0.1	3	3	3	3.0	0.3		勤務延べ時間数(a)	予定	474											
行動援護		1	2	2	1.7	0.1	26.0	35.0	33.0	31.3	0.1	3	3	3	3.0	0.3		実績	462												
移動支援		2	2	3	2.3	0.1	20.0	22.0	26.0	22.7		3	3	3	3.0			常勤が勤務すべき時間数(b)		168											
重度訪問介護以外の合計		10.0	10.0	11.0	10.3	0.3	203.00	209.00	225.00	212.3	0.5	4	4	4	4.0	0.4		0.1	(ア)												
重度訪問介護含む合計		11.0	11.0	12.0	11.3	0.3	417.00	429.00	450.00	432.0	1.0	5	5	5	5.0	0.5		0.3	(イ)												
																	0.3	(ウ)													
介護保険との合計		14.0	15.0	16.0	15.0	0.4	※色付きのセルに実績値を入力すること。利用者数及び従業者数の合計欄はダブルカウントしないよう注意。															事業所に配置すべきサービス提供責任者の数				【介護保険と別々に算出】=(ア)+(イ)+(ウ)のいずれか		人 うち常勤		人	
		15.0	16.0	17.0	16.0		←平成27年度に導入された、利用者数50人ごとに配置できる緩和措置を適用する場合は左の枠内に「50」を選択。															0.3				人 うち常勤		人			

注1) 本表は、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護及び移動支援事業所について作成してください。

注2) 指定申請変更届等で本市へ提出する際は、**予定欄のみ※6**のとおり時間数を記入してください。また、事業所において勤務表として使用する

※1 「居宅介護・職種」欄は、居宅介護に係る全ての職種を、職種ごとに並べて記載してください。居宅介護に従事しない場合は「×」を記載してください。

※2「勤務形態」欄は、①常勤・専従、②常勤・兼務、③非常勤・専従、④非常勤・兼務のいずれかを記号で記載するものと、職種ごとにこの順でまとめて記載してください。育児短時間勤務者の場合は「①短」「②短」と表記してください。

※3 「重度訪問」欄～「移動支援」欄は、サービス提供責任者は「サ」を、従業者は「従」を、従事しない事業は「×」を記載してください。

※4 「資格」欄は、従業者の職種に関する資格の種類を記載してください。

※5 ※5の欄は、当該目の曜日を記入してください。

※6 変形労働時間制を採用している場合のみ、第5週までの時間数を記入し、「4週の合計」欄には第5週までの合計を記入してください。

※7 「他の事業所の名称及び職名」欄は、同一法人内の他事業所で兼務する者について、その事業所名称及び職名を記載してください。

※「他の事業所での名称及び職名」欄は、同一法人内での事業所間で兼務する者について、その事業所名称及び職名を記載してください。の職種を兼ね、その合計時間数が常勤の時間数に満たない方は「④非常勤兼務」となります。

※9 「労働時間」の合計勤務時間数(欄)は、他の事業所での4週(又は1月)の合計勤務時間数を記載してください。

※10 「労働時間」の勤務一時時間数(欄)は、当該事業所、施設における労働時間の勤務一時時間数を記載し、変形労働制を採用している場合はその内容を記載してください。

474時間÷1

※9「サードサービス提供責任者の必要配置数の算出に際し、本書提出日の前3日間の状況を確認して、てぐさし、なお「障害関係係の係員」欄及び「介護保険料」の合計「欄」において、**複数サービスに計上される者については重複カウントしないで全体で1人とカウント**、てぐさし、

また、新規・再開の場合（近3ヵ月の実績がない場合は）は適切な推定数値を各月の欄すべてに記入してください。

事業により 従業員が異なる場合は 居宅介護の 人数を記入		従業員の員数		専従	兼務
サービス提供責任 者とヘルパーの合 計を記入(人)	常勤	1	1		
	非常勤	3			
勤務延べ時間数(a)	予定	474			
	実績	462			
常勤が勤務すべき時間数(b)		168			
常勤換算後の人数 (a/b)	予定	2.8			
	実績	2.7			

1. 重訪専従
 2. 他も従事
 3. 0.1 (7)

4	→	0.3	(イ) 当事業所に配置すべきサービス提供責任者の数
5	→	0.3	(ウ) 【介護保険と別々に算出】=(7)+(イ)と(ウ)のいずれか

(A)(B)(C)のうち 最小の数 (ア)は重訪のみ の必要数 (イ)は重訪を除く 事業上の必要数 (ウ)は重訪を含む 必要数	0.3	人	うち常勤	1	人
	+			+	
訪問介護等の基準	0.1	人	うち常勤	1	人
	+			+	
合計数	0.4	人	うち常勤	2	人

【介護保険と一体で算出】

0.4人うち常勤 1人 ← いずれかを配置

を配置

時間：160時間 2024 小教上第2件以下初検1、2、3

$$\text{時間} \div 168 \text{時間} = 2.821 \cdots \text{小数点第2位以下切捨} \rightarrow 2.8$$

全体で1人とカウントしてください。

[illegible]